

ツールの機能：本ツールには、3つの機能があります。

温室効果ガス削減支援ツール

産業廃棄物処理業の事業活動に伴う温室効果ガス排出量の算定等に関する支援ツール

1. 算定ツール

1.) 年度の指定

入力又は閲覧する年度を指定して下さい 2023年度

2.) 活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量等)の入力

入力する活動量

収集運搬業(車両の燃料使用量) 最終処分業(廃棄物の最終処分量等)
 中間処理業(廃棄物の焼却量等) 関連施設及び構内車両(産廃関連施設の燃料使用量)

活動量の入力

3.) 排出量の算定、閲覧

算定する温室効果ガス排出量

収集運搬業における排出量 最終処分業における排出量
 中間処理業における排出量 関連施設及び構内車両における排出量

排出量の算定

排出量の経年変化グラフ

2. 地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

※複数の試算を行う場合は、ファイルを複数に分けて保存して行ってください

地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

削減効果試算結果の閲覧

3. 分野別GHG排出量まとめ

分野別GHG排出量の算定

電気事業者別二酸化炭素排出係数の更新

温室効果ガス削減支援ツールver2.2

公益社団法人 全国産業資源循環連合会



産業廃棄物適正処理の Mascot 「てんむす」

【メイン画面】

1

排出量の算定、算定結果の表示

温室効果ガス削減支援ツール
活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量等)の入力
2023年度

収集運搬業(車両の燃料使用量)
収集運搬業における温室効果ガス排出量の算定

燃料の種類	燃料使用量	CO2排出係数	CO2排出量
ガソリン	0.0	0.0000	0.00
軽油	0.0	0.0000	0.00
LPG	0.0	0.0000	0.00
天然ガス(中圧燃焼)	(平均)	0.0000	0.00
バイオエタノール(低濃度)	0.0	0.0000	0.00
バイオメタン	0.0	0.0000	0.00

【活動量の入力画面(収集運搬)】

温室効果ガス削減支援ツール
収集運搬業における温室効果ガス排出量の算定
2023年度

収集運搬業における温室効果ガス排出量の算定

燃料の種類	燃料使用量	CO2排出係数	CO2排出量
ガソリン	100.0	0.0000	0.00
軽油	100.0	0.0000	0.00
LPG	0.0	0.0000	0.00
天然ガス(中圧燃焼)	(平均)	0.0000	0.00
バイオエタノール(低濃度)	0.0	0.0000	0.00
バイオメタン	0.0	0.0000	0.00

【排出量の算定画面(収集運搬)】

2

削減効果の試算、試算した削減効果の換算結果表示

温室効果ガス削減支援ツール
削減効果の試算

削減効果の試算結果

削減効果の試算結果

削減効果の種類	削減効果の量	削減効果の換算結果
削減効果の種類	削減効果の量	削減効果の換算結果

【削減効果の試算画面】

温室効果ガス削減支援ツール
試算した削減効果の換算結果表示

削減効果の換算結果

削減効果の換算結果

削減効果の換算結果

削減効果の換算結果

【試算した削減効果の換算結果画面】

3

分野別 GHG 排出量まとめ

温室効果ガス削減支援ツール
分野別GHG排出量の算定

分野別GHG排出量の算定

排出源	排出量	CO2排出係数	CO2排出量
排出源	排出量	CO2排出係数	CO2排出量

【分野別 GHG 排出量算定画面】

1. 排出源ごとに活動量を入力し、温室効果ガス排出量の算定、算定結果の表示を行います。

＜目的＞
事業者自らが温室効果ガス排出量を把握し、温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを検討する基礎資料として、削減対策の実施を支援することを目的としています。

2. 地球温暖化対策を実施した場合の削減効果の試算、試算結果の表示を行います。

＜目的＞
温室効果ガス排出量の削減対策を実施・検討する前に、削減対策によって得られる効果を予測すること、また、削減対策を実施した後に、対策によってどの程度の削減効果が得られているのか検証することを目的としています。

3. 算定・報告・公表制度の算定方法に基づき、温室効果ガス排出量の算定を行います。

＜目的＞
温対法に基づく排出量を試算することを目的としています。

操作手順①排出量の算定（例：収集運搬業の場合）

温室効果ガス削減支援ツール

産業廃棄物処理業の事業活動に伴う温室効果ガス排出量の算定等に関する支援ツール

1. 算定ツール

1.) 年度の指定

入力又は閲覧する年度を指定して下さい 2023年度

2.) 活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量等)の入力

入力する活動量

- 収集運搬業(車両の燃料使用量)
- 最終処分業(廃棄物の最終処分量等)
- 中間処理業(廃棄物の焼却量等)
- 関連施設及び構内車両(産廃関連施設の燃料使用量)

活動量の入力

3.) 排出量の算定、閲覧

算定する温室効果ガス排出量

- 収集運搬業における排出量
- 最終処分業における排出量
- 中間処理業における排出量
- 関連施設及び構内車両における排出量

排出量の算定

排出量の経年変化グラフ

2. 地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

※複数の試算を行う場合は、ファイルを複数に分けて保存して行ってください

地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

削減効果試算結果の閲覧

3. 分業別GHG排出量まとめ

分業別GHG排出量の算定

電気事業者別二酸化炭素排出係数の更新

温室効果ガス削減支援ツールver2.2

公益社団法人 全国産業資源循環連合会



産業廃棄物処理業のGHG排出量算定ツール

【メイン画面】

1

排出量を算定する年度を選択する

1. 算定ツール

1.) 年度の指定

入力又は閲覧する年度を指定して下さい

年度を選択する

2023年度

2017年度

2018年度

2019年度

2020年度

2021年度

2022年度

2023年度

2024年度

【メイン画面】

2

活動量(燃料使用量等)を入力する

温室効果ガス削減支援ツール

活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量等)の入力

2023年度

燃料使用量等を入力する

単位を選択する

燃料	燃料使用量	台数	1台あたりの燃費 平均燃費(km/l)	燃費 (km/l)
ガソリン	(l)			
軽油	(l)			
LPG	(kg)			
天然ガス(CH4)	(kg)			
バイオエタノール混合ガソリン	(l)			
バイオディーゼルの	(l)			

【活動量の入力画面(収集運搬業)】

3

排出量を算定する。(自動で計算、表示されます)

温室効果ガス削減支援ツール

収集運搬業における温室効果ガス排出量の算定

2023年度

算定結果が表示される

燃料	燃料使用量	CO2排出係数 (kg-CO2/l)	CO2排出量	CH4	N2O	合計
ガソリン	100.0	34.6	0.0071	0.0	0.0	0.0071
軽油	300.0	37.7	0.0096	0.0	0.0	0.0096
LPG	(kg)	50.8	0.0098	0.0	0.0	0.0098
天然ガス(CH4)	(kg)	44.8	0.0068	0.0	0.0	0.0068
バイオエタノール混合ガソリン	(l)	34.6	0.0071	0.0	0.0	0.0071
バイオディーゼルの	(l)	37.7	0.0096	0.0	0.0	0.0096
ガソリン	(l)	34.6	0.0071	0.0	0.0	0.0071
軽油	(l)	37.7	0.0096	0.0	0.0	0.0096
LPG	(kg)	50.8	0.0098	0.0	0.0	0.0098
天然ガス(CH4)	(kg)	44.8	0.0068	0.0	0.0	0.0068
改良 トヨタ 軽油	(kg)	34.6	0.0071	0.0	0.0	0.0071
軽油	(kg)	37.7	0.0096	0.0	0.0	0.0096
温室効果ガス排出量合計			749.4	0.0	0.0	749.4

温室効果ガス排出量グラフ

【排出量の算定画面(収集運搬業)】

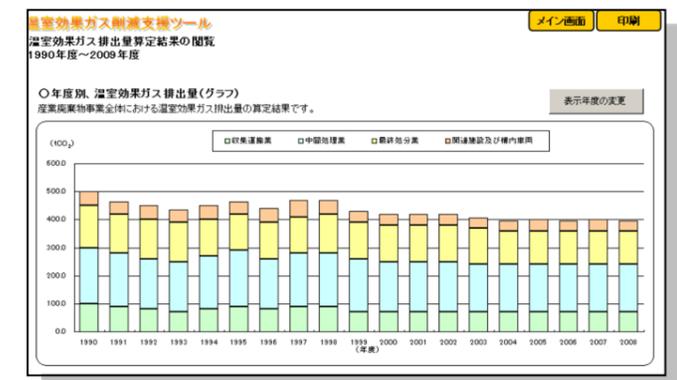
1. メイン画面の「年度の選択リスト」から活動量の入力及び排出量の算定を行う年度を選択します。

2. メイン画面の「入力する活動量」から収集運搬業を選択して、「活動量の入力」ボタンを押すと、活動量の入力画面が表示されます。

活動量の入力画面の水色の入力欄に数値(燃料使用量等)を入力します。入力単位は、単位の欄をクリックして表示されるリストから選択します。

3. メイン画面の「算定する温室効果ガス排出量」から収集運搬業を選択して、「排出量の算定」ボタンを押すと、排出量の算定画面が表示されます。排出量は、入力した活動量をもとに自動で計算されます。算定表の水色の記入欄「排出係数」「単位発熱量」には値が自動で指定されますが、他の値の入力もできます。

メイン画面の「排出量の経年変化グラフ」ボタンを押すと、算定した排出量の経年変化グラフが表示されます。



【排出量の経年変化グラフ】

操作手順②削減効果の試算（例：廃棄物発電設備の導入の場合）

温室効果ガス削減支援ツール

産業廃棄物処理業の事業活動に伴う温室効果ガス排出量の算定等に関する支援ツール

1. 算定ツール

1.) 年度の指定

入力又は閲覧する年度を指定して下さい 2023年度

2.) 活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量等)の入力

入力する活動量

収集運搬業(車両の燃料使用量) 最終処分業(廃棄物の最終処分量等)
 中間処理業(廃棄物の焼却量等) 関連施設及び構内車両(産廃関連施設の燃料使用量)

活動量の入力

3.) 排出量の算定、閲覧

算定する温室効果ガス排出量

収集運搬業における排出量 最終処分業における排出量
 中間処理業における排出量 関連施設及び構内車両における排出量

排出量の算定

排出量の経年変化グラフ

2. 地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

※複数の試算を行う場合は、ファイルを複数に分けて保存して行ってください

地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

削減効果試算結果の閲覧

3. 分野別GHG排出量まとめ

分野別GHG排出量の算定

電気事業者別二酸化炭素排出係数の更新

温室効果ガス削減支援ツールver2.2

公益社団法人 全国産業資源循環連合会



【メイン画面】

1

地球温暖化対策の実施による削減効果を試算する

温室効果ガス削減支援ツール

地球温暖化対策の実施による削減効果の試算
平成20年度(2008年度)

削減効果の試算表について
下記一覧から削減効果を試算する対策にチェックを入れてください。対策に対応する試算表を表示します。
表示した削減表に必要な値を入力することで、削減量の自動算定を行います。

地球温暖化対策

選別率の向上 下水汚泥焼却における燃焼の高度化 最終処分場周辺地及び処分場跡地の緑化
 産業廃棄物を原料としたエネルギー利用 準好気性埋立構造の採用 収集運搬時の燃料使用量削減
 廃棄物発電設備の導入 最終処分場発生ガスの回収・焼却 バイオマス燃料の使用
 発電効率の向上 適正な最終処分場管理 省エネルギー行動の実践、省エネルギー機器の買い替え
 廃棄物熱利用設備の導入 生分解性廃棄物の埋立量の削減

排出係数を表示

廃棄物発電設備の導入
産業廃棄物焼却施設における廃熱を回収して電力利用することにより、その発電量に相当する温室効果ガス排出量が削減効果となります。

温室効果ガス削減支援ツール

地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

削減効果の試算表について
下記一覧から削減効果を試算する対策にチェックを入れてください。対策に対応する試算表が表示されます。
表示した削減表に必要な値を入力することで、削減効果が自動で算定されます。

地球温暖化対策

選別率の向上 下水汚泥焼却における燃焼の高度化 最終処分場周辺地及び処分場跡地の緑化
 産業廃棄物を原料とした燃料・製品製造 準好気性埋立構造の採用 収集運搬時の燃料使用量削減
 廃棄物発電設備の導入 最終処分場発生ガスの回収・焼却 バイオマス燃料の使用
 発電効率の向上 適正な最終処分場管理 省エネルギー行動の実践、省エネルギー機器の買い替え
 廃棄物熱利用設備の導入 生分解性廃棄物の埋立量の削減

排出係数を表示

廃棄物発電設備の導入
産業廃棄物焼却施設における廃熱を回収して電力利用することにより、その発電量に相当する温室効果ガス排出量が削減効果となります。

入力(運転時間、施設の発電出力)	運転時間 (h/年)	電力出力 (kW)	発電効率 (%)	発電量 (千kWh)	削減効果 (tCO ₂ e)
廃棄物発電	7000	495.0	15.0	52.0	28.8

【削減効果の試算画面】

廃棄物発電設備の導入
産業廃棄物焼却施設における廃熱を回収して電力利用することにより、その発電量に相当する温室効果ガス排出量が削減効果となります。

削減効果試算表が表示される

▼入力(運転時間、施設の発電出力)

運転時間 (h/年)	電力出力 (kW)	発電効率 (%)	発電量 (千kWh)	削減効果 (tCO ₂ e)
7000	495.0	15.0	52.0	28.8

数値を入力する

【削減効果試算表(廃棄物発電設備の導入)】

2

試算した削減効果の合計、換算結果を表示する

温室効果ガス削減支援ツール

試算した削減効果の閲覧

削減効果の合計 85.5 (tCO₂e) は、

森林面積に換算すると、

森林面積 23.9 (ha) の吸収量に相当します。

※1ヘクタールの森林の標準CO₂吸収量を0.974(tCO₂e/ha)として試算。
(出典:次世代エネルギー推進プログラム「2000年改訂版 省エネルギー推進計画(関係機関)」)

それを東京ドームの個数に換算すると、

東京ドーム 5.1 (個) となります。

※東京ドームの建設面積を46,775(m²)として試算。(出典:東京ドームホームページ)

電気使用量に換算すると、

平均的な家庭 42.8 (世帯) の電気使用量に相当します。

※電気の二酸化炭素排出係数を0.555(tCO₂e/千kWh)として試算。一世代あたり年間電気使用量を2.2(千kWh)として試算。
(出典:1世代あたり電力消費量の推移、電気事業連合会)

それを原油換算すると、

ドラム缶 194.0 (本) となります。

※省エネ法に基づき、電力換算係数を0.76(MJ/kWh)、原油換算係数を0.0225(tCO₂e/MJ)、ドラム缶の容積を200ℓとして試算。

森林面積 = 23.9ha

東京ドーム × 5.1個

平均的な家庭 = 42.8世帯

ドラム缶 × 194本

【試算した削減効果の換算結果画面】

1. メイン画面の「地球温暖化対策の実施による削減効果の試算」ボタンを押すと、削減効果の試算画面が表示されます。

削減効果の試算画面の地球温暖化対策から実施予定または実施中の削減対策にチェックを入れます。

チェックした対策に対応する削減効果の試算表が表示されます。

水色の記入欄に、必要な数値を入力します。削減量は、入力した数値から自動で計算されます。

2. メイン画面の「削減効果試算結果の閲覧」ボタンを押すと、削減効果試算結果画面が表示されます。

削減効果試算結果画面には、試算した削減量の合計値及び「森林面積」「電気使用量」等に換算した結果が表示されます。

※「東京ドーム」の個数は、換算した「森林面積」を東京ドームの建築面積(46,775m²)で割った結果です。「ドラム缶」の本数は、換算した「平均的な家庭の電気使用量」を原油換算しドラム缶1本あたりの容積(200ℓ)で割った結果です。

温室効果ガス削減支援ツール

産業廃棄物処理業の事業活動に伴う温室効果ガス排出量の算定等に関する支援ツール

1. 算定ツール

1.) 年度の指定

入力又は閲覧する年度を指定して下さい 2023年度

2.) 活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量等)の入力

入力する活動量

収集運搬業(車両の燃料使用量) 最終処分業(廃棄物の最終処分量等)
 中間処理業(廃棄物の焼却量等) 関連施設及び構内車両(産廃関連施設の燃料使用量)

活動量の入力

3.) 排出量の算定、閲覧

算定する温室効果ガス排出量

収集運搬業における排出量 最終処分業における排出量
 中間処理業における排出量 関連施設及び構内車両における排出量

排出量の算定

排出量の経年変化グラフ

2. 地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

※複数の試算を行う場合は、ファイルを複数に分けて保存して行ってください

地球温暖化対策の実施による削減効果の試算

削減効果試算結果の閲覧

3. 分野別GHG排出量まとめ

分野別GHG排出量の算定

電気事業者別二酸化炭素排出係数の更新

温室効果ガス削減支援ツールver2.2

公益社団法人 全国産業資源循環連合会



【メイン画面】

1 年度を選択する

1. 算定ツール

1.) 年度の指定 年度を選択する

入力又は閲覧する年度を指定して下さい

2.) 活動量(燃料使用量、焼却量、最終処分量等)の入力

【メイン画面】

1. メイン画面の「年度の選択リスト」から年度を選択します。

2 活動量を入力し、排出量を算定する

温室効果ガス削減支援ツール

分野別GHG排出量の算定

2023年度

温室効果ガスである物質の区分	温室効果ガス算定排出量	排出係数・発熱量の初期化
1. エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素	0 tCO ₂	報告年度
2. エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素以外の二酸化炭素	0 tCO ₂	報告年度の活動量をコピー 2023
3. メタン	0 tCO ₂	過去の報告データをコピー 2022
4. 一酸化二窒素	0 tCO ₂	

○収集運搬業における温室効果ガス排出量

収集運搬業における温室効果ガス排出量の算定結果です。

活動量を入力する

単位を選択する

収集運搬業	燃料使用法	燃料	燃料使用量	CO ₂ 排出係数 (tCO ₂ /t)	温室効果ガス排出量(tCO ₂)			
					CO ₂	CH ₄	N ₂ O	合計
収集運搬業(車両)	改良引当法	ガソリン	34.6	0.0871	0.0	0.0	0.0	0.0
		軽油	37.7	0.0886	0.0	0.0	0.0	0.0
		LPG	50.8	0.0590	0.0	0.0	0.0	0.0
	従来の方法	ガソリン	44.8	0.0499	0.0	0.0	0.0	0.0
		軽油	34.6	0.0871	0.0	0.0	0.0	0.0
		LPG	37.7	0.0886	0.0	0.0	0.0	0.0
改良引当法	ガソリン	34.6	0.0871	0.0	0.0	0.0	0.0	
	軽油	37.7	0.0886	0.0	0.0	0.0	0.0	
	LPG	50.8	0.0590	0.0	0.0	0.0	0.0	
従来の方法	ガソリン	44.8	0.0499	0.0	0.0	0.0	0.0	
	軽油	34.6	0.0871	0.0	0.0	0.0	0.0	
	LPG	37.7	0.0886	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス排出量合計					0.0	0.0	0.0	0.0

【分野別 GHG 排出量の算定画面 (収集運搬業)】

2. メイン画面の「分野別 GHG 排出量の算定」ボタンを押すと、分野別 GHG 排出量の算定画面が表示されます。

水色の入力欄に数値(活動量等)を入力し、単位はリストから選択します。排出量は、入力した活動量をもとに自動で計算されます。算定表の水色の記入欄「排出係数」「単位発熱量」には値が自動で指定されますが、他の値の入力もできます。

※「報告年度の活動量をコピー」ボタンを押すと、活動量の入力画面で入力した活動量をコピーします。

※「過去の報告データをコピー」ボタンを押すと、過去の報告データをコピーします。(前年度の報告データをコピーする際に使用します。)